



緑区フリモ編集長と

エビフリモちゃんが気になるあの場所行ってみた

今回訪れたのは、昨年末に大幅リニューアルを行った現場。

健康寿命だけを追い続けて17年目。

“何でもできる”を捨て、“100年足腰”だけにすべてを注いできたリハビリの現場。

多くの人が“歩ける未来”を託す理由。その答えを、現地で確かめてきました。

何でもできる場所ではありません。だから、信頼が残りました。



外観からすでに、一般的なデイサービスとは一線を画す印象を受けました。中に入ると、その違いはさらに明確になります。ここは、昨年末に大幅リニューアルを行い、地域のランドマーク的存在となりつつあるリハビリみどりグループの本店です。

健康寿命という一つのテーマに絞り、長年積み上げてきた現場。その積み重ねに、今回のリニューアルが加わったことで、空間そのものにも強い意思が宿っているように感じられました。

特徴的なのは、「万能であること」をあえて捨て、「専門」に徹している点です。「何でもできる」のではなく、「100年足腰」にすべてを注ぐ。その選択が、技術の深さとして現場に表れていました。

スタッフは、理学療法士・作業療法士をはじめ、接骨院・鍼灸院で経験を積んだ治療家、アスレティックトレーナー、看護師を中心に構成されています。

さらに、リハビリ治療・アスリート現場に加え、医療系専門学校での教育・育成の最前線においても実績を積み重ねてきた、選り抜かれた専門家のみで構成されています。そして、その中核を担う施設長・フロア長が、開設以来一度も変わっていないという。単なる人員の充実ではなく、「本物の専門家が揃い続けている」という言葉がふさわしい体制です。

デイサービス部門では、同一行政区内での拠点数全国1位を達成。すべての事業所において、100%に迫る稼働率を長期にわたり維持している。この実績こそが、「地域密着」という言葉に一切の矛盾を許さない姿勢と、揺らぐことのない覚悟を物語っています。

ずっと続いているもの = いいもの、正しいもの

広げるよりも、深める。
その選択を長年貫いてきたことが、この場所の本質でした。

病気や痛み、体力・筋力低下に悩む方に。「100歳まで自分の足で歩く」その最終目標に、応え抜く体制と技術が、ここにはある。そう確信させられる場所でした。

さらに、緑区内で6拠点目となるリハビリ専門デイサービスのオープン準備も進んでいるとのこと。そこには、現時点で到達し得る最高到達点ともいえる、最先端・最高水準の技術が集約される。「病院以外でもできる基準」を更新し続けるその在り方こそが、進化を体現している。この地域のリハビリは、着実に厚みを増していきそうです。

